

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
	一般講演 技術経営(事例・ビジネス モデル・事業化)① 座長 林 聖子	一般講演 〈ホット 이슈〉 いま「研究力」をどう捉え るかーエビデンスをめぐ る多様な視点① 座長 七 丈 直 弘	一般講演 〈ホット 이슈〉 パンデミック環境におい て組織が失ったこと、得た こと① 座長 三 木 基 実	一般講演 〈ホット 이슈〉 経済安全保障、地政学、 グローバルサウス① 座長 野 呂 高 樹	一般講演 産官学連携・地域① 座長 奥 山 亮	一般講演 イノベーション・起業① 座長 藤 原 孝 男	一般講演 技術経営(戦略・R&Dマ ネジメント)① 座長 中 田 行 彦	
9:00	1A01 国内SIerの自社が提供す る“これからの価値”につ いて ○小林正典(東京理科大 /大興電子通信), 日戸 浩之(東京理科大)	1B01 学際コミュニケーションの 分析 その1: ネットワーク 解析による対話中の思考 プロセスの可視化 ○大木 有(立正大), 土 田 亮(日本学術振興 会), 佐藤啓明, 桑島修 一郎(京大)	1C01 パンデミック環境におい て組織が得たこと、失った こと ○西原一嘉(大阪電通 大), 三木基実(横国 大), 苗村昭夫(ユニッ ク大), 高田耕平(高田プラ ニング), 大槻眞一(阪南 大)	1D01 製造技術の時代的刷新: 脱炭素に向けたモノづくり 力とグローバルサウスの DX起爆力の融合ー日印 脱炭素協力によるジュ ガード世界標準化との共 進 ○渡辺千仞(東工大), 藤 祐司(東北学院大)	1E01 産学連携プロジェクトに おける企業および大学研 究者の心理学的組み合 わせが成果に及ぼす影 響分析 ○佐々木達郎 (NISTEP), 隅藏康一(政 研大), 池内健太(経済 産業研究所/NISTEP), 登坂万結, 野村ともこ, 上 島早織, 岩崎明子, 白井 聡(三菱電機)	1F01 大学の能力獲得プロセス の視点による大学発ベン チャー創出要因の整理 ○伊藤 伸, 渡部俊也 (東大), 荒木寛幸 (NISTEP)	1G01 日本企業のロシアを拠点 とするグローバル・イノ ベーション・ネットワーク ○近藤正幸(開志専門職 大)	9:00
9:20	1A02 Assessing the Evolution of Cultured Meat Technology: A Patent Analysis Approach ○于 冲, 岡村浩一郎 (関西学院大)	1B02 学際コミュニケーションの 分析 その2: 質的内容分 析による対話中の個々人 の思考プロセス変化と知 識統合の類型化 ○土田 亮(東大), 大木 有(立正大), 佐藤啓明, 桑島修一郎(京大)	1C02 パンデミック下での再生 可能エネルギー取組みの 検証 ○本庄孝子(元産総 研), 西原一嘉(大阪電 気通信大), 大槻眞一 (元阪南大)	1D02 製造技術の時代的刷新: 脱炭素に向けたモノづくり 力とグローバルサウスの DX起爆力の融合ーグ ローバルサウスに倣うビ ジネスモデルの刷新 ○藤 祐司(東北学院 大), 渡辺千仞(東工大)	1E02 大型産学共同研究にお けるリーダーに関する研 究 ○西尾好司(文教大)	1F02 フロントランナーの意思 決定のスタイルと影響力 ○板谷和彦(香川大)	1G02 ドイツ企業のロシアを拠 点としたグローバル・イノ ベーション・ネットワーク ○近藤正幸(開志専門職 大)	9:20
9:40	1A03 発表中止	1B03 被引用数Top10%論文の 指標としての特性とその 位置づけの変化: 中国や グローバルサウスの台頭 の観点から ○村上昭義, 伊神正貴 (NISTEP)	1C03 パンデミックに立ち向 かったNPOの活動 ○谷口邦彦(関西産業活 性協議会)	1D03 国際オープン化に伴うリ スクの具体事例に関する 調査研究 ○山越祥子(筑波大)	1E03 拠点形成事業を通じた産 学連携機能の強化に関 する一考察 ○黒河昭雄(神奈川県立 保健福祉大), 樋原伸彦 (早大)	1F03 国内スタートアップの成 長に寄与する経営者の 評価指標に関する研究 ○高木一樹, 水原善史, 倉敷哲生(阪大)	1G03 中国における日中自動車 メーカーの競争力の分析 ○REN YANLIN(亜細亜 大)	9:40

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
	<p>一般講演 技術経営(事例・ビジネスモデル・事業化)②</p> <p>座長 板谷 和彦</p>	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 いま「研究力」をどう捉えるか—エビデンスをめぐる多様な視点②</p> <p>座長 伊神 正 貴</p>	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 パンデミック環境において組織が失ったこと、得たこと②</p> <p>座長 大槻 眞一</p>	<p>一般講演 人材①</p> <p>座長 藤 祐 司</p>	<p>一般講演 産官学連携・地域②</p> <p>座長 西尾 好 司</p>	<p>一般講演 イノベーション・起業②</p> <p>座長 伊藤 伸</p>	<p>一般講演 技術経営(戦略・R&Dマネジメント)②</p> <p>座長 近藤 正 幸</p>	
10:50	<p>1A06 地域産学官連携スタイル掘切川モデルの進化 ○林 聖子(亜細亜大)</p>	<p>1B06 我が国の研究基盤と技術人材に求められることとは ○佐々木隆太(北大), 荒砂 茜(東海大), 渡邊 万記子, 隅藏康一(政研大)</p>	<p>1C06 大阪大学感染症総合教育研究拠点(CIDER)について ○谷口邦彦(関西産業活性化協議会)</p>	<p>1D06 博士課程進学者数に関する統計的因果探索と交絡因子の取り扱い ○高山正行(NISTEP/滋賀大), 小松尚登(滋賀大/理研), 前田高志ニコラス(学習院大/NISTEP/滋賀大/理研), 三内顕義(京大/NISTEP/滋賀大/NII/東大), 小柴 等(NISTEP/滋賀大), 清水昌平(滋賀大/NISTEP/理研)</p>	<p>1E06 4重らせんの発展と中間組織 ○要田徳子(経産省), 桑嶋健一(東大)</p>	<p>1F06 中小企業におけるイノベーションの阻害要因と解決方向に関する提言 ○玉田泰士(立教大)</p>	<p>1G06 日本企業の研究開発投資多角化のネットワーク分析 ○宮澤俊憲(東京成徳大)</p>	10:50
11:10	<p>1A07 グローバルサウスへの進出に際しての共創の必要性に関する研究 ○亀谷祥治(対外経済貿易大)</p>	<p>1B07 政策立案・政策評価のための研究データ基盤 ○七丈直弘(一橋大)</p>	<p>1C07 コロナ禍をのりこえて—社会の変化とシニアライフ— ○小池正夫(阪大)</p>	<p>1D07 博士人材追跡調査からみる博士人材のキャリアトレンドの変化 ○川村真理(NISTEP)</p>	<p>1E07 Industry on Campus ～共同研究講座・協働研究所の多様性～ ○安田 誠, 荒平智子(阪大)</p>	<p>1F07 オープンイノベーション論からエコシステム概念に至る理論的系譜の考察 ○山田貴子(立命館大)</p>	<p>1G07 シャープ再崩壊:イノベーション軽視と組織間関係不全で崖っ縁へ ○中田行彦(立命館アジア太平洋大)</p>	11:10
11:30	<p>1A08 中小企業の研究開発とイノベーションに関する考察 ○LIU XIAO(亜細亜大)</p>	<p>1B08 主要国の研究大学に対する支援メカニズムにおけるエビデンスの活用と課題 ○遠藤 悟(JST)</p>	<p>1C08 コロナ禍の経験から学んだ大阪公立大学 vision2030—大阪発、総合知で未来社会を創造する大学へ— ○井端雅一(大阪公立大)</p>	<p>1D08 企業の博士人材採用に関する実証研究:民間企業の研究活動に関する調査を用いた分析 ○北島謙生, 佐々木達郎, 富澤宏之(NISTEP)</p>	<p>1E08 研究成果の普及を推進するイノベーションの相互作用を生み出す研究体制 ○入谷 京(東京農工大), 江藤 学(一橋大), 三沢和彦(東京農工大)</p>	<p>1F08 コロナショック下での債務超過バイオ企業のパレート分布とR&D生産性の相違 ○藤原孝男(豊橋技術科学大/JST)</p>	<p>1G08 成長する事業ドメインの組み合わせについて ○小淵照見, 日戸浩之(東京理科大)</p>	11:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
	<p>一般講演 技術経営(事例・ビジネスモデル・事業化)③ 座長 中村吉明</p>	<p>一般講演 科学と社会① 座長 開本 亮</p>	<p>一般講演 研究・イノベーション政策① 座長 黒河昭雄</p>	<p>一般講演 知的財産 座長 長谷川 光一</p>	<p>一般講演 産官学連携・地域)③ 座長 能見利彦</p>	<p>一般講演 技術経営(教育・育成)① 座長 中山敬太</p>	<p>一般講演 技術経営(戦略・R&Dマネジメント)③ 座長 小沼良直</p>	
13:30	<p>1A15 NEDO採択審査委員会運営に関する一考察～模擬公募研修の分析～ ○前野武史, 和田祐子, 山本航介, 堀 尋之, 田崎芳郎, 西尾昌二, 薄井由紀(NEDO), 井上悟志(東京理科大)</p>	<p>1B15 新興技術の組み合わせにおける無知の領域と社会受容(ドローン、AI、群知能におけるケース) ○佐々木一, 鈴木真二(東大)</p>	<p>1C15 研究助成機関の役割と成り立ちからの考察—フィンランドの研究助成機関を例に— ○望月麻友美(阪大), 岡嶋裕子(京都先端大)</p>	<p>1D15 特許出願における発明者の識別—二値分類による識別手法の性能評価— ○細野光章(NISTEP/東海国立大学機構), 中山保夫, 富澤宏之(NISTEP)</p>	<p>1E15 データ科学をハブとした先端研究のヨコ串連携・起業化への取組～千葉大の学内特区・DSCのチャレンジ ○斎藤尚樹(千葉大)</p>	<p>1F15 社会人/専門職大学院における実践的リサーチデザインの検討 ○小野田敬(東工大), 伊藤泰信(北陸先端大)</p>	<p>1G15 NEDO研究開発プロジェクトにおけるリスクマネジメントの高度化に関する考察～公開情報を用いた分析～ ○小川 康(インテグラート), 和田祐子, 堀 尋之, 田崎芳郎, 前野武史(NEDO)</p>	13:30
13:50	<p>1A16 NEDOの幅広いネットワークを活用したプロジェクト遂行に関する取り組み(グリーンイノベーション基金 CO2の分離回収等技術開発の事例) ○大城昌晃(NEDO)</p>	<p>1B16 ゲーム実況動画による科学コミュニティ拡大戦略の可能性 ○越田航平, 木村英一郎(東工大)</p>	<p>1C16 英国における「政策のための科学」に関する取組の一考察—CAPE (Capabilities in Academic Policy Engagement)を中心に— ○野呂高樹(未来工研/政研大)</p>	<p>1D16 開発途上国における知的財産制度の発展への影響 ○谷治和文(成城大)</p>	<p>1E16 日本企業の国際産学共同研究のバリアとドライバー ○村上由紀子(早大)</p>	<p>1F16 請負型システム開発現場における新たなリーダーシップ理論～レゴ型リーダーシップの提案と性格診断を活用した事例研究～ ○稲葉知行(東京理科大/DSR), 日戸浩之(東京理科大)</p>	<p>1G16 NEDO研究開発プロジェクトにおけるリスクマネジメントの高度化に関する考察～プロジェクト関係者へのヒアリングを踏まえた分析～ ○和田祐子(NEDO), 小川 康(インテグラート), 堀 尋之, 田崎芳郎, 前野武史(NEDO)</p>	13:50
14:10	<p>1A17 地域中小建設業の技能者支援PF構築による社会課題解決の提案 ○清原 亮(東京理科大/安藤・間), 田村浩道(東京理科大)</p>	<p>1B17 青森県六ヶ所村のエネルギー産業立地と環境科学技術研究所の取組みについて ○角田英之(環境科学技術研究所)</p>	<p>1C17 オランダの研究評価改革:政策研究エコシステムの観点から ○岡村麻子(NISTEP)</p>	<p>1D17 アレグラ®錠の立体商標登録は後発医薬品の外観に影響したのか—フェキソフェナジン塩酸塩錠「杏林」の場合— ○曾我 諒(日大)</p>	<p>1E17 誰のものでもない仕事に取り組みボランティアの研究—里山保全、企業内自主活動のケーススタディを通じた新たなガバナンスモデルの追求— ○山口圭介(東京理科大/ライフスケープマーケティング), 日戸浩之(東京理科大)</p>	<p>1F17 事業存続と早期再浮上への鍵～価値創造のための実行力に関する考察 ○松木義成(東京理科大)</p>	<p>1G17 R&D部門におけるリサーチシステムの構想および試行 ○余平哲也, 岸 和人, 平野由希子, 伊藤達雄, 加藤 勉, 山田勝幸(リコー)</p>	14:10

10月26日(土)14:30～15:10

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
14:30	<p>1A18 『顧客から選ばれるゼネコン』のビジネス企画提案～建物×再生可能エネルギーを事例に～ ○小山 明(東京理科大／大成建設), 井上悟志(東京理科大)</p>	<p>1B18 バイオエコノミーの実現に向けたバイオものづくり関連政策のランドスケープの可視化 ○松尾真紀子(東大), 田沼伸章(文科省), 松本拓郎(内閣府), 石塚大輔(経産省), 城山英明(東大), 蓮沼誠久(神戸大), 立川雅司(名古屋大)</p>	<p>1C18 戦略的知性の批判的実在論 ○吉澤 剛(関西学院大)</p>	<p>1D18 株式市場反応を通じた日本の特許価値の評価手法 ○三浦貴嗣, 玉田俊平太(関西学院大)</p>	<p>1E18 企業取締役会における人文社会系分野の知の活用方法の一考察～ 2017-22年売上高上位200社の統計比較から～ ○南 了太(京都精華大)</p>	<p>1F18 対話を促進する俯瞰図 ○小粥幹夫(ひとつなぎの会)</p>	<p>1G18 企業研究所における戦略立案のためのポートフォリオマネジメント実践—mercari R4Dを事例に— ○多湖真琴, 井上眞梨, 藤本翔一(メルカリ)</p>	14:30
14:50	<p>1A19 ゼネコンによる宇宙産業へのアプローチ ○中村孝博(大成建設), 井上悟志(東京理科大)</p>	<p>1B19 生命科学分野研究者における研究公正と評価に対する意識 ○標葉隆馬(阪大), 田中智之(京都薬科大), 小出隆規(早大), 加納圭(滋賀大), 鶴田想人(阪大)</p>	<p>1C19 トランスフォーマティブ・イノベーション政策への転換に向けた総合知の可能性と課題 ○藤川真央(三菱総研), 田原敬一郎(未来工研)</p>	<p>1D19 日本の工作機械産業における持続的競争優位の要因分析 ○柿谷鈴菜, 長谷川光一, 桐田陽介(大阪工大)</p>		<p>1F19 システム構築において直面する顧客との期待ギャップを解消する～中堅SIerのための顧客期待値を可視化するモデルの提案～ ○尾崎一穂, 田村浩道(東京理科大)</p>	<p>1G19 科学者はいかにして不可能な研究から画期的イノベーションを導出したのか? : ノーベル賞を受賞した青色LED研究の事例研究 ○馬場靖憲(麗澤大), 柴山創太郎(東大)</p>	14:50

15:10

15:10

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
	一般講演 技術経営(事例・ビジネス モデル・事業化)④ 座長 谷 治 和 文	一般講演 科学と社会② 座長 角 田 英 之	一般講演 研究・イノベーション政策 ② 座長 高 山 正 行	一般講演 人材② 座長 斎 藤 尚 樹	一般講演 分析と評価① 座長 細 野 光 章	一般講演 <ホット 이슈> イノベーション・エコシ テムにおける標準のリ ポジショニング① 座長 南 了 太	一般講演 技術経営(戦略・R&Dマ ネジメント)④ 座長 馬 場 靖 憲	
15:20	1A20 発表中止	1B20 第12回科学技術予測調 査ビジョニング調査:市民 アンケート調査からのナ ラティブの抽出 ○岡村麻子(NISTEP), 山田光花莉(NISTEP/ 信州大)	1C20 研究力低下時期における 国立大学関連施策 ○磯谷桂介(中部大)	1D20 中国の科学技術人材育 成・支援策における明暗 ○松田侑奈(JST)	1E20 小売実店舗における販売 促進施策の効果検証モ デルについての研究 ○飯塚剛士(東京理科大 /イオン), 日戸浩之(東 京理科大)	1F20 デジュール/デファクト標 準と市場メカニズムー NACSの事例から ○福永敬一, 坂元耕三 (日本規格協会)	1G20 日本企業のイノベーショ ン・マネジメント: ボトル ネックの解消に向けた方 策 ○隅藏康一(政研大), 榎場博文, 三原祐治 (MPUF)	15:20
15:40	1A21 中小製造業のデジタル技 術を活用したビジネスの 変革プロセス ○野村敏弘(東京理科 大)	1B21 STEM分野の女性活躍 の一考察(ヘンリー・ダイ アーからマリー・キュリー) ○吉祥瑞枝, 守 量子 (サイエンススタジオ・マ リー)	1C21 失われた30年の技術指 標、経済指標と考察 ○能見利彦(東京情報デ ザイン専門職大)	1D21 韓国における半導体・AI 分野の高度人材育成戦 略 ○安 順花(JST)	1E21 東証の低PBR是正要請 に対する企業と市場の反 応~各社の施策を評価 するフレームワークにつ いての提案~ ○田村浩道(東京理科 大)	1F21 グローバル認証機関の動 向分析; 持続的発展の状 況を探る ○坂元耕三, 福永敬一 (日本規格協会)	1G21 デジタル化に向けての企 業活動に関するアンケ ート調査 ○小沼良直(未来工 研), 高梨千賀子(東洋 大), 安本雅典(横国 大), 手嶋達也(日立製 作所), 水上 潔, 中島一 雄, 大塚和久(ロボット革 命・産業IoTイニシアティ ブ協議会)	15:40
16:00	1A22 DXを支えるスタッフ部門 の機能設計 ○佐々木雄生(東京理科 大/Works Human Intelligence), 田村浩道 (東京理科大)	1B22 被災地への科学技術イ ノベーションに必要な要件 に関する検討 ○小松原康弘, 井ノ口宗 成(富山大)	1C22 研究利用の条件・プロセ ス・アプローチに関する 試論 ○黒河昭雄(神奈川県立 保健福祉大), 菊地乃依 瑠(政研大)	1D22 スマート・ネーションを目 指した人材育成・確保政 策の展開: シンガポールの 事例 ○斎藤 至(JST)	1E22 先端技術を用いた事業 に関する企業価値評価 ~web3.0の市場評価~ ○砂川和雅(東京理科 大)	1F22 不確実性リスクに対する 予防的標準化の有効可 能性についてーナノ・マ イクロプラスチック汚染対 策と「標準化」イノベーシ ョンの関係性の観点からー ○中山敬太(日本都市セ ンター)	1G22 研究開発における技術探 索と企業業績との関連性 について ○竹上慎志(東京理科大 /サンケン電気)	16:00

10月27日(日)10:50~11:50

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 AIと人間の共進化のための課題と展望</p> <p>座長 加藤 浩</p>	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 いま「研究力」をどう捉えるかーエビデンスをめぐる多様な視点①</p> <p>座長 隅 藏 康一</p>	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 パンデミック環境において組織が失ったこと、得たこと④</p> <p>座長 馬 場 敏幸</p>	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 再生的経済社会に向けて技術経営②</p> <p>座長 若 林 秀 樹</p>	<p>一般講演 分析と評価②</p> <p>座長 犬 塚 隆 志</p>	<p>一般講演 イノベーション・起業④</p> <p>座長 藤 田 正 典</p>	<p>一般講演 研究・イノベーション政策③</p> <p>座長 加 藤 敦 宣</p>	
10:50	<p>2A06 AI技術の進展の加速化の中での技術と制度の共進化メカニズムに係る考察 ○市川 類(一橋大)</p>	<p>2B06 ノーベル賞受賞者の主要研究とキャリア分析 ○川崎正貴(NISTEP/筑波大), 原 泰史(NISTEP/神戸大), 赤池伸一(NISTEP)</p>	<p>2C06 An Analysis of Impact of COVID-19 = Assessment of Damage and Preparation for Next Pandemics = ○三森八重子(阪大)</p>	<p>2D06 再生的経済活動を推進する消費者の動機付けに関する研究:何を価値と考えるか ○西中美和(香川大)</p>	<p>2E06 R&D費率・成長率・収益率・割引率の関係式の再考~事業価値評価に基づく定式化~ ○飯島良介, 若林秀樹, 小林憲司(東京理科大)</p>	<p>2F06 スタートアップ企業の評価をOPM法で実施する場合の問題点に関する研究 ○小林憲司(東京理科大)</p>	<p>2G06 生成AI領域の形成過程(1):先導的研究体制の構築の国際比較 ○三浦崇寛(文科省), 林 隆之(政研大)</p>	10:50
11:10	<p>2A07 国内SME領域のマーケティング戦略における人工知能適用の効果と課題?~事例研究とベストプラクティスの提案~ ○久保広賢(立教大)</p>	<p>2B07 人文学研究者は研究の質・価値をどう認識し評価しているのか ○押海圭一(国文学研究資料館/政研大)</p>	<p>2C07 パンデミックを乗り越える企業連携・地域連携の事例 ○樋口元信(山口油屋福太郎)</p>	<p>2D07 〈サステナビリティ経営〉の組織構成員による受容度合いの測定方法について ○宮崎正也(名古屋大)</p>	<p>2E07 ダイナミックプライシング時代のメーカー戦略とは?~PC/家電小売市場におけるプライスマッチングの実態を解明~ ○真田典和(東京理科大/メルコ), 若林秀樹, 小林憲司(東京理科大)</p>	<p>2F07 暗号資産関連領域における研究テーマとその変遷のメカニズム ○鈴木馨太郎, 七丈直弘(一橋大)</p>	<p>2G07 生成AI領域の形成過程(2):日本の研究者による新規領域への対応動向と課題認識 ○林 隆之(政研大), 三浦崇寛(文科省)</p>	11:10
11:30	<p>2A08 社会科学の生成AI(&LLM)への適応 ○高橋 浩(B-frontier研究所)</p>	<p>2B08 コングロマリットの価値を最大化する頑強な研究開発ポートフォリオの設計 ○飯島良介, 若林秀樹, 田村浩道(東京理科大)</p>	<p>2C08 看護師シェアリングエコノミーの実証~分散型自律組織:人ではなくシステムを管理する~ ○羽生田悠, 河野翔一, 宮坂修平, 山本晋也(法政大)</p>	<p>2D08 ネイチャーポジティブはなぜ必要なのか~サーキュラーエコノミーの観点からの一考察~ ○八神実優, 妹尾堅一郎(産学連携推進機構)</p>	<p>2E08 公的研究開発投資のスピルオーバー効果に関する調査研究について ○中川尚志(文科省), 池内健太(経済産業研究所), 赤池伸一(NISTEP), 松尾浩道, 宗像扶早子(経済社会総合研究所)</p>	<p>2F08 エフェクチュエーション志向 vs. コーゼーション志向は選択と経験によって決定されるか~日本の大企業における実証分析~ ○樋原伸彦, 池田真梨(早大)</p>	<p>2G08 生成AIや人工知能に関連する科学技術白書や科学技術予算の推移 ○岸本晃彦, 富澤宏之(NISTEP)</p>	11:30

11:50

11:50

10月27日(日)11:50~12:50

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
11:50	<p>2A09</p> <p>メーカー営業が販売店に対して提供できる新たな価値について考察～生成AIを活かしてエンドユーザーのニーズを把握し、営業を革新する～</p> <p>○右田将章(東京理科大/メルコ), 若林秀樹, 小林憲司(東京理科大)</p>	<p>2B09</p> <p>研究力には運が必要か?</p> <p>○井村亜矢(阪大)</p>	<p>2C09</p> <p>医療イノベーションを生むDEI発展形のDEIJ(DEI+Justice)</p> <p>○内海 潤(ティアリサーチコンサルティング)</p>	<p>2D09</p> <p>サーキュラーエコミーにおけるトランスディプリナリー研究促進に向けたインタビュー調査</p> <p>○寒河江茜里, 木見田康治, 天沢逸里(東大)</p>	<p>2E09</p> <p>企業の意思決定の重心における定量化研究(シリコンサイクルにしぶとく追従した中堅半導体企業のケーススタディ)</p> <p>○草野隆介(東京理科大/日清紡マイクロデバイス), 若林秀樹(東京理科大)</p>	<p>2F09</p> <p>民間研究支援サービスの可能性と課題</p> <p>○原田 隆(東工大)</p>	<p>2G09</p> <p>設置法及び施行令に着目した主要政策の省庁間関連性に関する分析</p> <p>○井上悟志(東京理科大)</p>	11:50
12:10	<p>2A10</p> <p>R&D部門からの新規事業創出を支援する生成AI活用手法</p> <p>○平野由希子, 岸 和人, 伊藤達雄, 山田勝幸, 加藤 勉, 余平哲也(リコー)</p>	<p>2B10</p> <p>若手研究者意識調査から見る研究エコシステムの課題</p> <p>○標葉隆馬(阪大)</p>	<p>2C10</p> <p>討論</p>	<p>2D10</p> <p>サーキュラーエコミーにおける「モノづくり」に関する論点を整理する～生産機械・設備の開発方向性の一考察～</p> <p>○村松竜弥, 妹尾堅一郎(産学連携推進機構)</p>	<p>2E10</p> <p>公共システム・ソリューションビジネスにおける市場変化と企業の適合に関する分析と考察</p> <p>○渡邊裕樹, 若林秀樹(東京理科大)</p>	<p>2F10</p> <p>発表中止</p>	<p>2G10</p> <p>From Quantity to Quality: How China's Bayh-Dole Act Amendment Transformed University Patent Landscape</p> <p>○中村健太, 計 恵敏(神戸大)</p>	12:10
12:30	<p>2A11</p> <p>討論</p>	<p>2B11</p> <p>討論</p>		<p>2D11</p> <p>討論</p>	<p>2E11</p> <p>Excelベースの大規模書誌データ取得・分析支援ツールの開発</p> <p>○山下泰弘, 野澤龍介, 花田文子, 村野文菜(JST)</p>		<p>2G11</p> <p>インドのディープテックスタートアップ・エコシステムの振興策について</p> <p>○藤原孝男(JST/豊橋技術科学大)</p>	12:30

12:50

12:50

10月27日(日)14:30~15:10

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	
14:30	<p>2A18</p> <p>データセンター多様化時代における、データ復旧事業者の生存条件とは？</p> <p>○本田慧太(東京理科大／メルコ), 若林秀樹, 小林憲司(東京理科大)</p>	<p>2B18</p> <p>大学の国際志向が大学発ベンチャー創出に与える影響の実証分析</p> <p>○小島千草(名古屋市立大)</p>	<p>2C18</p> <p>工学系に着目した研究データ入手や公開に関する意識調査:</p> <p>NISTEP2020調査データの再利用</p> <p>○林 和弘(NISTEP), 今若珠月(NISTEP/九大), 池内有為(NISTEP/文教大)</p>	<p>2D18</p> <p>ハラスメントの時代変化～多様性と情報化社会の関係性～</p> <p>○江黒照美(東京理科大)</p>	<p>2E18</p> <p>島津製作所の共同研究を通じて人材育成を目指すREACHプロジェクト</p> <p>○平丸大介, 中西博昭, 飯田順子(阪大・島津分析イノベーション協働研究所)</p>	<p>2F18</p> <p>子供の内発的動機を高める実践的社会教育プログラムの開発</p> <p>○黄瀬真理(Link & Innovation), 黄瀬柚葉(中村中学校3年生), 三留丈樹(Virgo), 山本晋也(Link & Innovation)</p>	<p>2G18</p> <p>半導体製造装置メーカーの拠点立地に関する戦略の検討～集中と分散の最適条件とは～</p> <p>○小山裕貴(東京理科大／芝浦メカトロニクス), 若林秀樹(東京理科大)</p>	14:30
14:50	<p>2A19</p> <p>”イノベーションの黒子”としてのメガバンクのあるべき姿(Ⅱ)</p> <p>○西村卓也(三菱UFJ銀行／東京理科大), 若林秀樹, 小林憲司(東京理科大)</p>		<p>2C19</p> <p>Research Integrity and Research Security in Open Science Infrastructure, Policies, and Operation & Management: Enhancing the effectiveness of collaborative research across nations and academic disciplines</p> <p>○Takehito Kamata (Sophia Univ.)</p>	<p>2D19</p> <p>国会議員連盟「教育立国推進協議会」を軸にした社会連携について</p> <p>○若月 聡(東京理科大／東邦大学／日大／日本工業大／日本保健医療大／千葉市青葉看護専門学校等), 若月温美(東葉高等学校／玉川大)</p>	<p>2E19</p> <p>AI創薬の特許動向と今後の対応</p> <p>○加藤 浩(日大)</p>		<p>2G19</p> <p>次世代電池の開発動向とマネジメント</p> <p>○加藤敦宣(成城大)</p>	14:50

15:10

15:10

